

中学・高校の先生1,400人に聞いた「SDGs教育」は5割強の学校が積極的 内容は「生徒による自由研究」や「地域の探究」が上位

～調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.212「学校のSDGs教育の取り組み」～
<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol212>

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は毎月最終火曜日に結果を発信している調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.212にて、「学校のSDGs教育の取り組み」の調査データを公開しました。

2023年は、2015年9月に国連サミットにおいて全会一致でSDGs※が採択されて以降、2030年の達成年限までの『中間年』となり、SDGsは私たちの生活でも耳にすることが多くなりました。学校教育においても、学習指導要領が改訂されたり、入試問題にSDGsが出題されたりしています。では、学校でSDGs教育はどのように取り組まれているのでしょうか？今回は、全国の中学・高校の教員を対象に、学校でのSDGs教育の取り組み状況、SDGs教育の内容と課題について調査しました。

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓い、日本では「持続可能な社会の創り手の育成」として学校教育に取り入れられています。

◆調査結果サマリー◆

- 5割強の学校が積極的にSDGs教育に取り組んでいると回答
- SDGs教育の内容は、「生徒による自由研究」や「地域の探究」が多い
- 課題としては、授業を行う環境や教員自身の経験・スキルの不足などが上位にあげられた

◆まとめ・見解

世界は今、新型コロナウイルス感染症、気候変動による災害、紛争、食料・エネルギー問題、貧困、教育格差などの多くの深刻な課題に直面し、SDGsの意義が再認識されています。このような時代を背景にSDGsへの認知や関心も世界中で高まっていますが、学校ではSDGs教育に取り組むための課題もあるようです。

今回、全国の中学・高校の教員1,400人を対象にした調査では、学校でのSDGs教育について、「とても積極的である」(10.4%)と「やや積極的である」(41.9%)をあわせると、**5割強の学校がSDGs教育に積極的に取り組んでいると回答**していました。しかし、「全く積極的ではない」(11.2%)という学校も**1割程度**みられます。

SDGs教育の内容については、「生徒による自由研究」、「地域の探究」、「職場見学・体験(インターンシップ)」、「外部講師・企業による講演会やセミナー」、「外部講師・企業による出張授業」など様々な取り組みを実施している一方で、SDGs教育で何をするか「特に決まっていない」(26.4%)、「SDGs教育は実施していない」(19.9%)という**回答も2割程度**みられ、学校におけるSDGs教育環境に格差が生じているようです。

SDGs教育への取り組みの課題は、「授業準備・進め方」(39.1%)、「授業時間の確保・調整」(38.4%)、「SDGs指導経験・スキルの不足」(31.1%)という**授業を行う環境や教員自身の経験・スキルなどに困っている教員が3～4割程度**みられます。また、「生徒のモチベーション」、「出張授業・講演会を行なう外部講師・企業の選定」、「SDGs教育プログラムの開発」なども課題としてあげられ、一部の学校ではSDGs教育を行う環境や体制が整っていなかったり、生徒のモチベーションの維持が難しかったりなどの課題もあるようです。

SDGsでは、持続可能でよりよい世界を目指すため、経済・社会・環境の3側面に取り組むべき課題が国際目標として掲げられています。その中で、「持続可能な社会の創り手」を育成するために、学校における質の高いSDGs教育の充実が期待されています。

◆調査結果

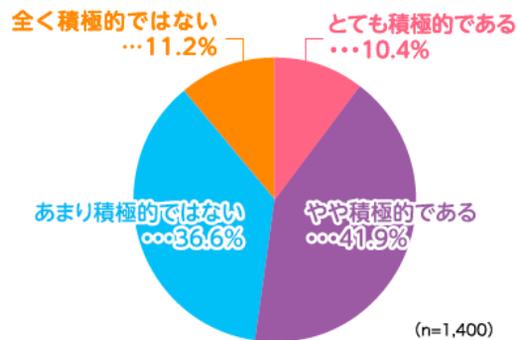
1. SDGs教育の取り組み状況

●5割強の学校が積極的にSDGs教育に取り組んでいる

中学・高校におけるSDGs教育の取り組み状況は、「とても積極的である」(10.4%)と「やや積極的である」(41.9%)をあわせると、**5割強が積極的に学校でSDGs教育に取り組んでいると回答**しています。

一方、「**全く積極的ではない**」(11.2%)という回答は1割程度みられます。

Q.あなたの学校では、SDGs教育の取り組み状況は、いかがですか。(単数回答)



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

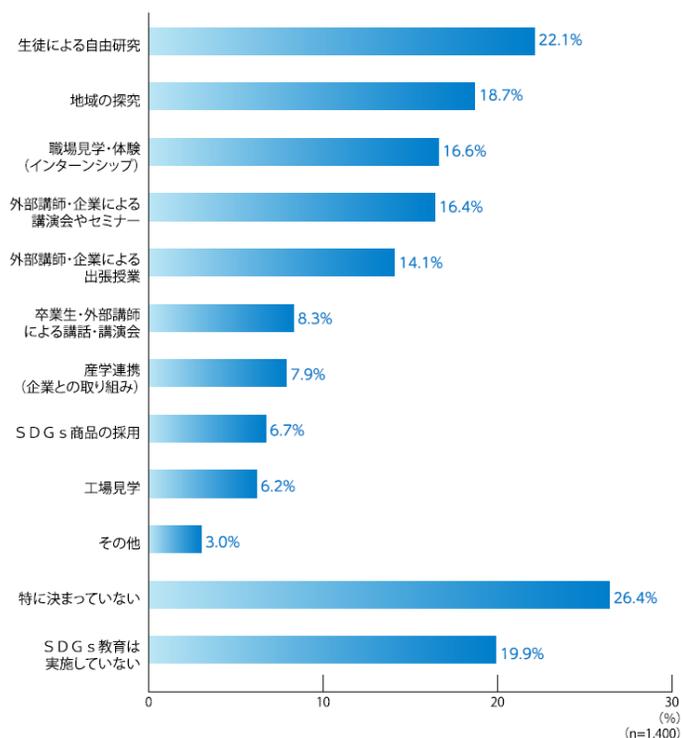
2. SDGs教育の内容

●SDGs教育の内容は、「生徒による自由研究」「地域の探究」が多い

SDGs教育の内容については、「**生徒による自由研究**」(22.1%)が最も多く、次に「**地域の探究**」(18.7%)、「**職場見学・体験(インターンシップ)**」(16.6%)、「**外部講師・企業による講演会やセミナー**」(16.4%)、「**外部講師・企業による出張授業**」(14.1%)を行っている状況でした。

また、「**特に決まっていない**」(26.4%)、「**SDGs教育は実施していない**」(19.9%)という回答もありました。

Q.SDGs教育として、どのような内容を実施していますか。(複数回答)



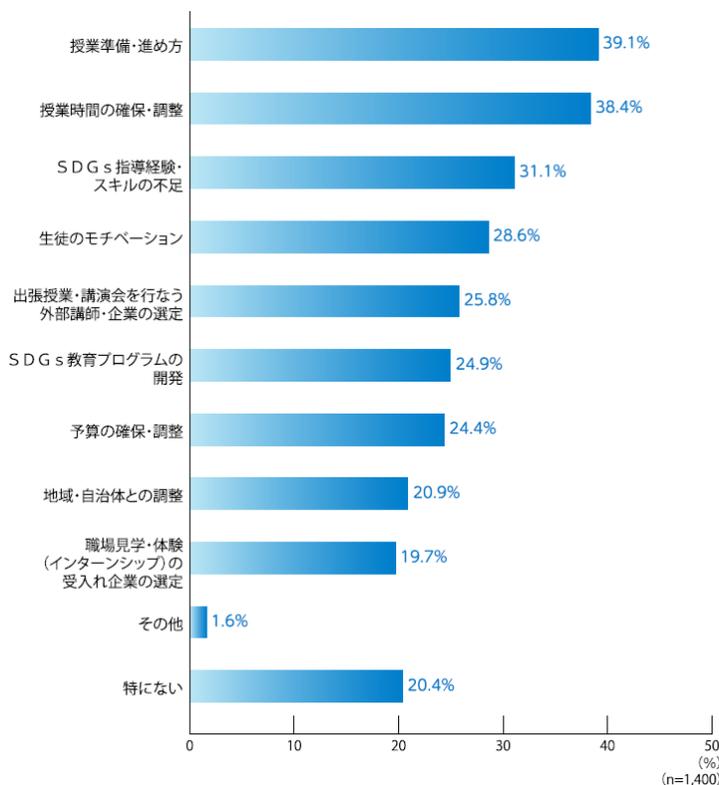
◆調査結果

3. SDGs教育の課題

●授業を行う環境や教員自身の経験・スキルの不足などが課題の上位に

SDGs教育に取り組む際に教員が思う課題は、「**授業準備・進め方**」(39.1%)、「**授業時間の確保・調整**」(38.4%)、「**SDGs指導経験・スキルの不足**」(31.1%)という授業を行う環境や教員自身の経験・スキルなどが課題として上位にあげられ、次に「**生徒のモチベーション**」(28.6%)、「**出張授業・講演会を行なう外部講師・企業の選定**」(25.8%)、「**SDGs教育プログラムの開発**」(24.9%)といった生徒の意識や外部講師・企業との調整などがあげられました。

Q.SDGs教育に取り組むにあたり、どのようなことが課題ですか。(複数回答)



◆調査概要

- ・調査主体:菅公学生服株式会社
- ・調査対象:全国の中学・高校の教員1,400人
- ・サンプルサイズ:

中学校	高校	計
588	812	1,400

- ・調査方法:インターネットリサーチ
 - ・実施時期:2023年6月
 - ・調査委託先:楽天インサイト株式会社
- ※結果公開URL: <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol212>

【菅公学生服株式会社】

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

【カンコーホームルーム】

菅公学生服株式会社が、生徒を取り巻く環境や生徒の意識・ライフスタイルについて多角的に調査・分析し、毎月最終火曜日に、結果を発信している調査レポート。

テーマは、「中高生が着たい制服・体操服」、「部活動で身につく力」、「学校教育とSDGs」など多岐にわたる。調査結果は、当社の事業エビデンスとしてだけでなく、広く一般に公開することで論文や教材、新聞・テレビ番組で引用転載されるなど、多方面でも活用されている。

発行日:毎月1回最終火曜日更新

公開方法:WEB <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom>

調査テーマの募集、ご意見・ご要望受付:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/demand>

引用・転載のお申込み:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/quotation>

以上